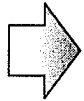


大学と地域との連携拠点に関する先進地事例（事業部会視察先）

視察の目的

大学を拠点とした地域づくりに取り組んでいる先進地を調査し、地域産業の振興や人材輩出に寄与するための手法を学ぶことで、十勝の高等教育機関等における今後の展開の参考とするため



長野県上田市
岩手県盛岡市・花巻市 の2視察を実施
※両視察通じて事業部会6名全員参加

【先進地を見比べることで有効な視察を実施】

（長野県上田市）

（岩手県盛岡市・花巻市）

AREC 他

コラボMIU 他

課題解決事例

・人員が不足
・組織が分離

・人員を確保
・組織を集約

1. 長野県上田市（信州大学繊維学部）

信州大学繊維学部キャンパス内に、産学官連携により新技術等の共同研究開発を促進し、産学連携・産産連携を活性化させて地域産業を振興することを目的としたAREC（エーレック：浅間リサーチエクステンションセンターの略）を設立。大学の持つノウハウを活用したい企業側の要望と、事業化に結びつく研究を展開したい大学側のニーズを合致させる。市も補助金を出しているほか、職員を2名派遣させるなどの支援を行っている。

<視察者の感想>

- ①大学施設内に市の建物が設けられ、それが独立しているのではなく、通路で大学の他の建物と繋がっていることに驚かされた。まさに大学の中に行政が入り込んでいる事例といえる。
- ②AREC 内の共同研究室は満室が続くなど、ニーズが高い。繊維産業という特定の分野に強みがある中で、事業者が大学を積極的に利用できている様子は、我々も見習う必要がある。
- ③AREC のスタッフ不足は否めず、現状以上の発展は難しいと関係者も述べていた。市の職員が異動により変わってしまうことも、密な連携・継続性を確保するうえで課題である。

2. 岩手県盛岡市・花巻市（岩手大学）

岩手大学には、ワンストップサービス機関としての地域連携推進センターのほか、大学の研究成果を活用する事業者のためのインキュベーションを備えた、盛岡市産学官連携研究センター（コラボ MIU）が設置されている。岩手県内の各自治体は、それぞれ大学との連携協定を結び、職員派遣を積極的に進め、自治体によっては寄附によって研究部門（サテライト）を設置するなど、強固な関係性を築いている。

<視察者の感想>

（盛岡市）

①長野県上田市の事例で浮上していた課題を、人的面・施設面の整備を強化することで解消していたのが印象深い。特に、大学・市・財団の職員が同じフロアで共に業務にあたっているのは、単なる職員派遣にとどまらず、各自が同じ方向を見据えて仕事ができると感じられ、参考になった。

②レンタルラボに加え貸工場も設けており、起業したい者に対する手厚いフォローの意識を感じた。地域連携推進センターでは、綿密な指導もされており、それを可能とする人材が確保できている点も見習わなくてはならない。

（花巻市）

③花巻市の起業化支援センターは、15年目で税金等とコストが逆転したとのこと。人員が10人いるにもかかわらず、人件費をペイさせながら、しっかりと実績を積み重ねているのは、まさに成功事例といえる。

両視察を通しての感想～高等教育機関を活かしたまちづくりへのヒント～

両地域とも成功の背景には、人の存在がある。長野には長期で携わっているコーディネーターがおり、岩手には経営専門の民間企業経験者が配置され、利用者への企画からフォローアップに至るまで、適切なアドバイスを行う仕組みを構築していたことが印象深い。

十勝（畜大）にも、地域連携推進センターがあるが、先進地を見習うのであれば貸実験室や貸工場までの、出口につなげるためのフォローが重要。検討中の食農医連携研究センターがその役目を果たせば良いと思う。

■ 長野県上田市 (平成24年11月20日～11月22日)

① 上田市産学官連携支援施設 AREC

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ◆地域・会員企業へのトータル支援 (技術相談、事業化、各種支援情報等の提供・申請、販路拡大、人材確保、人材育成、企業マッチング など) ◆相談窓口、各機関へのつなぎ・連携 (大学、財団 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆法人会員、賛助会員、地域企業 (比較的小規模な事業者、中小企業がメイン) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆技術相談・企業訪問 ◆講演会・研修会・見学会 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数 200 弱 ・共同研究室 18、交流スペース、ミーティングルーム ・入居機関(浅間センター、中小企業応援センター、ARECプラザ) ・コーディネーター常勤1名 非常勤3名

② 長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ◆技術開発・共同研究・企業交流・課題解決のための各種支援 (フォーラム等での企業交流・ネットワーク作り、同一テーマ・課題の研究会、共同研究・技術開発、人材育成、補助申請支援 など) ◆県内各大学・大手企業等とのつなぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆浅間地域の企業 (一定の専門技術を有するものづくり企業) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各研究会活動(4研究会) ◆コーディネート活動 ◆共同研究等推進事業(国・財団補助) ◆セミナー開催(人材育成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノ財団の県内 6 地域センターの一つ ・常勤3名 非常勤3名

③ 株式会社信州TLO

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ◆信州大学・長野高専との技術相談、シーズ等活用 (秘密保持、研究、出願、特許の実施・譲渡、技術指導、コンサルタントの各契約) ◆特許出願・管理 	<ul style="list-style-type: none"> ◆大学等のシーズ活用、技術交流を希望する企業 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事業化・研究開発支援 ◆技術移転 ◆大学の活動支援 (教員の相談・調整、就職支援、知財講義) 	<ul style="list-style-type: none"> ・信大SVBL内に本部 ・信大・高専教員が株主 ・信大4学部を設置

④ 信州大学繊維学部ファイバークリエーション・インキュベーターFi i 施設・・・入居企業との共同研究、人材育成、製品開発

⑤ 信州大学繊維学部先進植物工場研究教育センター・・・企業との共同研究、人材育成、技術支援、レンタルラボあり

⑥ 信州大学SVBL・・・大学院・学生支援 (ビジネスの実際、国内外研修支援、学生ベンチャー支援 など)

■ 岩手県盛岡市 (平成 25年2月6日～2月8日)

① 岩手大学地域連携推進センター

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<p>◆地域へのワンストップサービス機関 (①大学教育研究の進展 ②知財の産業界・住民への還元 ③地域振興、生涯学習 ④知的創造サイクルの確立)</p> <p>※知的創造サイクル 研究開発の推進⇒他大学等との連携⇒知財の権利化⇒利益相反マネジメント⇒技術移転⇒新事業創出⇒地域振興⇒...</p>	<p>◆県内外企業 (共同研究等) ◆行政、金融機関 (連携) ◆他大学 (連携、共同研究等)</p>	<p>◆岩手大学と3サテライトを産学連携研究開発拠点 ・ものづくり研究開発 ・人材育成 など ◆金融機関との連携 リエゾンI ・1.5千万円/年, 200万円/社</p>	<p>・センター常駐活動者 40名 全体で 87名が関与 ・6市が職員派遣 ・11市村と連携協定、21市町村と共同研究実施</p>

② 盛岡市産学官連携研究センター (コラボ MIU)

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<p>◆岩手大学の研究成果を活用する事業者のためのインキュベーション施設 ・研究開発支援 (インキュベーションラボ、研究開発機器) ・販売促進支援 (インキュベーションマネージャー支援) ・産学官民交流支援 (交流スペース) ※第2ステージ (ステップ)</p>	<p>◆県内外企業</p>	<p>◆入居企業への支援 ◆地域連携推進センターの事業展開の場 (施設活用) ◆MIUカフェ (研究・シーズ等の話を聞く場。先生や企業との交流の場)</p>	<p>・岩手大学が指定管理者 (施設内に研究協力課置く) ・34の研究開発室、8の事業化支援ブース ・中小企業同友会入居</p>

③ 盛岡市産業支援センター

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<p>◆起業・創業支援、市内事業所の活動支援 ※第1ステージ (ホップ)</p>	<p>◆起業・創業を目指す人、市内事業所</p>	<p>◆創業相談、入居企業への支援 ◆市内企業相互交流、産学官交流の場の提供 ◆情報提供 (有望分野、技術等)</p>	<p>・民間ビルの①フロアー ・創業支援室 13室 ・交流スペース ・経営・技術アドバイザー</p>

④ 盛岡市新事業創出支援センター M-Tec

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<p>◆ものづくり系の新規事業者や中小企業の新事業、新製品開発の支援 (貸工場、入居者支援) ※第3ステージ (ジャンプ)</p>	<p>◆入居企業 (県内外企業)</p>	<p>◆入居企業への支援</p>	<p>・貸工場7棟</p>

■ 岩手県花巻市（平成25年2月6日～2月8日）

① 花巻市起業化支援センター

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<p>◆新規起業、新分野への進出、研究開発を目指す企業のサポート拠点 (貸研究室、貸工場棟／各種試験機器の開放／産学官専門家アドバイス／各種支援制度／情報交流・企業・製品 PR 等)</p>	<p>◆入居企業(市内外企業) ◆地域企業</p>	<p>◆入居企業・地域企業への各種コーディネート、新事業創出支援 (各種マッチング、技術相談、マーケティング、関連団体等とのつなぎ、デバイス研究会運営 など) ◆各種研修・セミナー等 ◆開放試験機器の貸与・管理 など</p>	<p>・花巻市技術振興協会事業運営 ・職員 10 名 ・研究室 8 室、工場 13 棟</p>

② 岩手大学 工学部附属 複合デバイス技術研究センター新技術応用展開部門 花巻サテライト

主な機能	主な対象	主な取り組み	特記事項
<p>◆デバイス関連産業の創出</p>	<p>◆市内企業、学生、社会人</p>	<p>◆文部科学省プロジェクト・受託研究 ◆学生・社会人実習 ◆各種技術相談、設備利用相談、共同研究のつなぎ など</p>	<p>・花巻市の委託</p>

(以下の施設は説明のみ受けたものである)

③ 花巻市ビジネスインキュベータ・・・都市型産業促進のためのビジネスインキュベータ、若者の就労支援（ジョブカフェ）

④ 花巻市賃貸工場（ポストインキュベーション）・・・企業誘致目的の貸工場（9棟）、
 起業化支援センター卒業企業のセカンドステージ入居も想定

